2022年6月吉日

各自治体関係者・観光振興に関わる皆様

株式会社リクルート
じゃらんリサーチセンター　センター長　沢登　次彦

オンラインセミナー開催のお知らせ（参加費無料）
じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2022」
～地域の「変わる決意」に応える５日間～

拝啓　日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症による地域・観光への多大なる影響に、皆様、日々奮闘されていることと存じます。
じゃらんリサーチセンター（以下、ＪＲＣ）では
「観光振興セミナー」を、本年も「オンラインセミナー」としてお届けさせていただきます。
一日でも早い地域および観光の需要回復にお役立ていただけますようお願い申し上げます。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

敬具

【概要】

本セミナーは、**事前お申込いただいた方のみ限定公開のオンラインセミナー**となります。

・下記日程で**リアルタイム配信**を行います（各日で限定3,000名まで聴講可能）

・事前お申込者様のみ、セミナー開催日の数日前に当日視聴用ＵＲＬをメールでお送りいたします。

●テーマ1：変革期を迎えた観光戦略編

■第１回　７月６日(水)
調査データから検証！
旅行者の変化とポストコロナの観光戦略とは？

●テーマ２：持続可能な観光地経営編

■第２回　７月１２日(火)
観光DX、DMO経営、インバウンド、自治体SDGsなど
持続可能性のテーマで発表

●テーマ3：エリア別最新旅行実態編

■第３回　７月２２日(金)
全国＋東北・関東甲信越・北陸エリアの最新分析
■第４回　７月２６日(火)
全国＋東海・関西・中四国エリアの最新分析
■第５回　７月２９日(金)
全国＋北海道・九州・沖縄エリアの最新分析

【本セミナーのポイント】
●オンラインにて、全５日間のプログラムで展開。単日のみ、または５日間通しの応募も可能です。
●今年で18回目を迎えるＪＲＣ基幹調査「じゃらん宿泊旅行調査２０２２」の最新データ分析とともに、
　ポストコロナを見据えた観光戦略に関する独自調査の結果なども公開。
●観光変革期のいま、地域単位で改めて取り組むべきテーマとして
　旅行価値観の変化調査、観光DX、持続可能なDMO、ご当地グルメ、ご当地体験、最新エリアプロデュース事例、等
　ＪＲＣ研究結果を日替わりでお届けします。

→お申込方法・プログラム詳細は、次ページ以降をご覧ください

主催：株式会社リクルート　じゃらんリサーチセンター
後援：国土交通省　観光庁（予定）

●開催概要●

オンラインセミナー　じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2022」

～地域の「変わる決意」に応える５日間～

1. オンラインセミナー日時

下記日程で**リアルタイム配信**を行います。

＜　変革期を迎えた観光戦略編　＞

■第１回　２０２２年　７月６日(水)　　１３：３０～１６：３０終了予定

＜　持続可能な観光地経営編　＞

■第２回　２０２２年　７月１２日(火)　１３：３０～１６：４０終了予定

＜　エリア別最新旅行実態編　＞

■第３回　２０２２年　７月２２日(金)　１３：３０～１６：４０終了予定

■第４回　２０２２年　７月２６日(火)　１３：３０～１６：４０終了予定

■第５回　２０２２年　７月２９日(金)　１３：３０～１７：１０終了予定

2. 参加費　無料

3. セミナープログラム内容

各日プログラム内容が異なります。次ページ以降で詳細をご確認の上、ご希望の日程をお申込ください。

4. 申込方法

じゃらんリサーチセンターホームページよりお申込ください。

■お申込ページ　https://jrc.jalan.net/seminar/4047/

＜アクセス手順＞

①WEBブラウザにて、「じゃらんリサーチセンター」と検索

②トップページ 右上の「セミナー」タブをクリック

③「観光振興セミナー」一覧から

「【お知らせ】観光振興セミナー2022を開催いたします」をクリック

※右記ＱＲコードからも、ページへアクセス可能。読み取れない場合は上記URLからアクセスください

■【お申込〆切】　第1回・第2回　2022年7月1(金)23:59まで

第3回・第4回・第5回　2022年7月19(火)23:59まで

5. セミナー当日の視聴方法について

・本セミナーは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため**「オンラインでの聴講」**となります。

・ＰＣ・スマートフォンにて、開催当日に**リアルタイムでの配信**を予定しております。

（ＰＣの場合はブラウザで視聴可、

スマートフォンの場合はブラウザ又はアプリをダウンロードいただいた上での視聴となります）

・事前にお申込いただいた方には、**セミナー開催日の数日前に当日視聴用ＵＲＬをメールでお送りします**。

●本セミナーへのお問合せについて●

事務局メール：jalan_rc@r.recruit.co.jp

→担当：久保田、松本（対応時間　平日１０:００～１８:００）

【お願い】　メールでお問合せの際は以下をご記載ください。事務局より後ほどご連絡いたします。

・メールタイトル＝「セミナー問合せ」

・メール本文＝社名・団体名/お名前/メールアドレス/電話番号／問合せ内容を記載

※応募期間中、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事務局はリモート対応となります。
お問合せの回答にお時間をいただく可能性があります。ご不便をおかけし申し訳ありません。

※お電話での問い合わせ対応は行っておりません。ご了承ください。

●プログラム1日目 【2022年7月６日(水)13:30～16:30終了予定】

時間	テーマ	内容	話者
13：30～13：40	開催のご挨拶		旅行ディビジョン ディビジョン長 宮本 賢一郎
13：40～14：00	国土交通省 観光庁より 今期の戦略・重点施策ポイントの共有		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 田島 聖一 様
14：00～14：20	Part１ Withコロナ・実態編 「新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響」調査より コロナ禍における旅行スタイルと旅行者インサイトの変化	じゃらんリサーチセンターでは、2カ月毎の定点調査として「新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響」調査を実施しレポートを公開しています。本講演では、2020年3月からの計13回に渡るデータを定点で追いながら、最新データを中心に旅行行動と生活者心理の動向をご紹介します。	研究スタッフ 五十嵐 大悟
14：20～15：10	Part２ Afterコロナ・予測編 初出！「第二回 新型コロナウイルス感染症による旅行価値観の変化」調査より ポストコロナ時代の旅行を考察！ どうなる？これからの旅の価値観	じゃらんリサーチセンターでは昨年、新型コロナウイルスによって旅行者の価値観がどう変化するのかについて発表しました。その調査研究の第二弾、最新データをこのセミナーで初めて発表いたします。長引くコロナ禍で旅行者は感染対策を習慣的に身に付けつつあり、マナーやルールを守りながらできる範囲での娯楽を楽しむ日本の旅行者の姿が見えてきました。一方、収束後の「外」での活動に意欲的な兆しも。データをもとに、今後の価値観の変化や市場にもたらす影響について、主席研究員の森戸が考察します。	主席研究員 森戸 香奈子
15：10～15：20	小休憩		
15：20～15：50	エリアはどこまで？いくら？どんなプランならやってみたい？ 最新の調査データをもとに解説！ 新しい関係人口 ワーケーション需要の現状と可能性	2020年以降新たな働き方になりつつあるワーケーション。今回は、昨年実施した「ワーケーションに関する調査 分析レポート2021」の2022年度版の調査レポートから最新トレンドをご紹介します。ワーケーションのマーケットは2022年になっても健在なのか？どんな動機で行うのか？など昨年度の調査との経年比較はもちろん、東京在住者のワーケーション検討エリアは？、1泊あたりに出せる費用は？どんな宿泊商品プランなら実際に行動を起こすか？など地域でどんな整備を行っていくべきか、より具体的なヒントをお伝えしていきます。	研究員 森 成人
15：50～16：20	旅の多様性を拡張、新たな旅行需要を開拓する 「行く旅→帰る旅」へ 新需要ポテンシャル分析	国内宿泊旅行実施率はコロナ禍以前より年々低下傾向に。現状回復と既存観光政策のみで市場のシュリンク傾向は止められるだろうか？新たな旅行需要を育てる必要があるのでは？新たな旅行需要創出のキーワード「帰る旅」に注目、その需要のポテンシャルやユーザーの志向性を独自調査しました。全国各地で浸透・拡大するためのヒントを提供いたします。	客員研究員 北嶋 緒里恵
16：20～16：30	閉会のご挨拶＆諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏

●プログラム2日目 【2022年7月12日(火)13:30～16:40終了予定】

時間	テーマ	内容	話者
13：30～13：40	開催のご挨拶		旅行ディビジョン ディビジョン長 宮本 賢一郎
13：40～14：00	国土交通省 観光庁より 今期の戦略・重点施策ポイントの共有 ※2日目以降録画映像		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 田島 聖一 様
14：00～14：50	地域と共に作り上げる 『じゃらん流！観光DX』 ～リクルートのデータを活用し地域消費額を可視化！～	地域観光消費を最大化する『じゃらん流 観光DX』。デジタル技術（業務・経営支援サービス「Air ビジネスツールズ」）を地域事業者に設置し、データ（リクルートが保有する宿泊実態統計データ・会計統計データ）などを提供することで「地域消費分析プラットフォーム」を構築。観光消費額増加策や有効な行政支援立案などに活用する観光DXプロジェクトをご紹介します。	研究員 木島 達也
14：50～15：00	小休憩		
15：00～15：30	持続可能なDMOとは？ ～地域の先進事例から～ 「DMO経営」を考える	日本版DMO構築から5年が経過して、全国に多数のDMO法人が設立しています。その中で今、課題に置かれているのが財政的な問題からの持続性です。補助金事業を中心とした事業経営だけでは持続性を保つことは難しい。そこで今回は経営視点を持っているDMO法人の地域のリアルな具体的事例を交えて、地域経営をどのように行っていくのかについて解説していきます。	研究員 森 成人
15：30～16：00	観光先進国の戦略と事例から導く！ インバウンド再開に向けた 「統合的デジタルマーケティング」の松竹梅メソッド	渡航再開を待ち望み、海外旅行の情報収集や計画を進めている外国人カスタマーが一定層存在する中、観光競合国はデジタルを活用して積極的な情報発信を実施、渡航先の第一候補を目指し稼働しています。海外先進国のデジタルマーケティングの戦略や取組事例を参考に、日本の観光組織でもすぐ取り入れられるデジタル導線の最適化方法について解説。予算の縮小や体制変更があってもすぐにできること、中長期的に準備することなど松竹梅プランにわけて提示します。	研究員 松本 百加里
16：00～16：30	自治体SDGs×地球コクリ！＝地域の魅力化 「共創型農業」新たなつながりによる地域ブランディング	気候変動など地球規模の課題は、地域社会においても急速な変化を促しています。持続可能な開発目標(SDGs）は、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。世界中でゴール達成に向けた様々な政策やプロジェクトが実施される中、私たちは地域社会を地球の縮図と考え、人の視点転換や意識変容が地域変容に結び付く研究「地球コクリ！（地球生態系全体のコ・クリエーション（共創））」を進めています。人、地域、自然などの「つながり」を取り戻すことで、地域に負荷の少ない有機農業が推進され、新たな地域の魅力化につながる研究を実施しました。	研究員 三田 愛
16：30～16：40	閉会のご挨拶＆諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏

●プログラム3日目 【2022年7月22日(金)13:30～16:40終了予定】

時間	テーマ	内容	話者
13：30～13：40	開催のご挨拶		旅行ディビジョン ディビジョン長 宮本 賢一郎
13：40～14：00	国土交通省 観光庁より 今期の戦略・重点施策ポイントの共有 ※2日目以降録画映像		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 田島 聖一 様
14：00～14：50	コロナ禍2年目の旅行実態を詳細データで解説！ 最新版「じゃらん宿泊旅行調査2022」 エリア別トピックス【東北・関東甲信越・北陸編】	新型コロナウイルス感染症が広まってから既に3年目に突入しました。コロナ禍での旅行者はどのような旅行をしているのでしょうか。2021年度の最新の旅行実態データをもとに、エリア別のトピックスを交えてお話いたします。	センター長 沢登 次彦
14：50～15：00	小休憩		
15：00～15：30	地域コンテンツを高付加価値化するためには？ 「サステナブル」を軸に地域資源をミドル富裕層とマッチングするインバウンドの取り組み	「高付加価値旅行（ラグジュアリートラベル）」と言っても、外国人カスタマーの旅行ニーズや旅行スタイル、サステナブルで響く観点は様々です。カスタマーをタイプ分類し、「サステナブル」で響くテーマを取り入れながら、地域資源とマッチングしてコンテンツ造成を行いました。実際に秋田県で行ったインバウンドコンテンツ造成＆ＰＲの事例とともにご紹介します。	研究員 松本 百加里
15：30～16：00	マジ☆部調査から紐解く 旅行好き若年層をつかむ戦略的アプローチ	１０年以上に渡り若年層需要創出に挑み続けている「マジ☆部」が行った独自調査・分析をもとに、旅行意欲の高い若年層が持つ、旅行に対する価値観・目的・傾向を見つめながら、彼らに対する戦略的なアプローチをご紹介します。	「マジ☆部」担当 佐藤 和香
16：00～16：30	新個人型包括旅行運賃（新IIT）へ対応した地方空港利用促進事例	2020年に大手航空会社2社が国内線の航空運賃に変動型の新個人型包括旅行運賃（新IIT）を導入。従来の「価格固定型ツアー」からダイナミックプライシング型の「価格変動型ツアー」へ転換を迎えることになりました。2022年4月に新個人型包括旅行運賃（新IIT）への完全移行を迎えるにあたり実施した、新たな地方空港利用促進事例をご紹介します。	地域創造部 中四国グループ マネジャー 早瀬 雄一
16：30～16：40	閉会のご挨拶＆諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏

●プログラム４日目 【2022年7月26日(火)13:30～16:40終了予定】

時間	テーマ	内容	話者
13：30～13：40	開催のご挨拶		旅行ディビジョン ディビジョン長 宮本 賢一郎
13：40～14：00	国土交通省 観光庁より 今期の戦略・重点施策ポイントの共有 ※2日目以降録画映像		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 田島 聖一 様
14：00～14：50	コロナ禍2年目の旅行実態を詳細データで解説！ 最新版「じゃらん宿泊旅行調査2022」 エリア別トピックス【東海・関西・中四国編】	新型コロナウイルス感染症が広まってから既に3年目に突入しました。コロナ禍での旅行者はどのような旅行をしているのでしょうか。2021年度の最新の旅行実態データをもとに、エリア別のトピックスを交えてお話いたします。	センター長 沢登 次彦
14：50～15：00	小休憩		
15：00～15：30	９市町村合同で？！近畿×四国でコラボ？！ 「広域エリアでご当地グルメ開発に挑戦」 ～明日から使えるHOW TOグルメ開発～	広域エリアでのグルメ開発方法を徹底解剖！事例を基に、企画運営方法や共通テーマの見つけ方など、誕生に至るまでのストーリーを一挙公開！兵庫県南あわじ市×徳島県鳴門市の地域資源を活用した「〇〇の幸グルメ」とは？ひがし高知９市町村で誕生した「香香柚子（しゃんしゃんゆず）グルメ」って？	ご当地グルメ開発プロデューサー 田中 優子
15：30～16：00	最新版!! 体験・アクティビティ市場実態分析＆「ご当地体験」開発取組み ～「体験・コト消費」で地域に文化と価値を創造～	地域資源を活かし、その体験を目的にその地域へ訪れる「メイン目的型」のご当地体験の開発を通して見えてきた事柄と開発ステップを解説。地域の方と実際に取り組んだ事例を基に発表します。また最新版「じゃらん宿泊旅行調査2022」による体験・アクティビティ市場の実態と傾向を紹介し、効果的な創出のポイントもお伝えします。	研究員 齋藤 晋作
16：00～16：30	観光客の動態を最新の人流ビッグデータから読み解き、多面的分析でネクストターゲットにアプローチ	魅力ある観光地として認知され、二度三度と選ばれる観光地になるためには、観光客の動態や自らの地域の特色を客観的に把握することが不可欠。最新デジタル技術も活用し、多面的に分析を行い、プロモーションまでを一気通貫で実施した（公社）京都府観光連盟さまの事例をご紹介します。	地域創造部 関西グループ マネジャー 杉岡 亮汰
16：30～16：40	閉会のご挨拶＆諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏

●プログラム5日目 【2022年7月29日(金)13:30～17:10終了予定】

時間	テーマ	内容	話者
13：30～13：40	**開催のご挨拶**		**旅行ディビジョン ディビジョン長 宮本 賢一郎**
13：40～14：00	**国土交通省 観光庁より 今期の戦略・重点施策ポイントの共有** ※2日目以降録画映像		**国土交通省 観光庁 観光戦略課長 田島 聖一 様**
14：00～14：50	**コロナ禍2年目の旅行実態を詳細データで解説！ 最新版「じゃらん宿泊旅行調査2022」 エリア別トピックス【北海道・九州・沖縄編】**	新型コロナウイルス感染症が広まってから既に3年目に突入しました。コロナ禍での旅行者はどのような旅行をしているのでしょうか。2021年度の最新の旅行実態データをもとに、エリア別のトピックスを交えてお話いたします。	**センター長 沢登 次彦**
14：50～15：00	**小休憩**		
15：00～15：30	**県内４地域で新・ご当地グルメが同時デビュー！ 新しい形の地域連携ご当地グルメ ～長崎モデル～**	平戸ジビエ南蛮カレー、西海シマアジ旨造り膳、新上五島生マグロ刺身皿、宇久島鯛めし。長崎県観光振興課が仕掛けた「食による広域連携」は、県内４地域で新・ご当地グルメを開発して同時デビューさせることだった……。	**客員研究員 ヒロ中田**
15：30～16：00	**少子高齢化による労働力不足への一つの解決策！ 地域住民の潜在力で補う、雇用の地産地消とは （三重南部）**	観光産業における労働力は、コロナ前に比較して▲50万人と言われ、全業界の中でも圧倒的に減少しています。観光復興を目指していく中で、地域における労働力の確保は非常に重要な課題です。今回は、三重県のあるエリアにおいて、「地域の仕事を地域で解決した」事例をお伝えします。	**地域創造部 総合企画グループ マネジャー 平山 圭介**
16：00～16：30	最新の沖縄動向から沖縄のエリア事例まで **株式会社リクルートライフスタイル沖縄より最新報告**	沖縄マーケットの最新動向（入域・観光消費など）と新型コロナウイルス感染症によるマーケットの変化について、またその変化に対応し、マーケットの回復の早期化を目指すべく、地域と協働し取り組んでいく戦略方針についてお話いたします。	**株式会社リクルートライフスタイル 沖縄 代表取締役社長 有木 真理**
16：30～17：00	1年を振り返り、新たな兆しを探る **株式会社リクルート北海道じゃらん 今後の取り組みについて**	北海道じゃらんカスタマーから寄せられた声から読み取った『兆し』にフォーカス、今後の北海道観光マーケットの傾向を踏まえて、社長大野よりお話します。	**株式会社リクルート北海道じゃらん 代表取締役社長 大野 雅矢**
17：00～17：10	**閉会のご挨拶＆諸連絡**		**センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏**

●登壇者プロフィール

じゃらんリサーチセンター
センター長
沢登　次彦

じゃらんリサーチセンター長、とーりまかし編集長。1993年入社。教育機関広報事業部を経て2003年4月に旅行事業（（株）リクルートライフスタイル）へ。関東近郊観光地のエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。2007年4月より現職。観光庁をはじめ中央省庁や地方自治体の各種審議会委員を務める。

主席研究員
森戸　香奈子

調査担当、研究冊子「とーりまかし」デスク。1998年入社。株式会社リクルートリサーチ（当時）にて調査設計を担当、じゃらん編集部、広告制作を経て2007年4月より現職。日本人の国内旅行実態を調べる「じゃらん宿泊旅行調査」、コロナ禍の旅行者の価値観変化を追った「新型コロナウイルス感染症拡大による旅行価値観の変化」調査、持続可能な観光地研究「三方よしの観光地経営」などを担当。新潟県「にいがた観光政策アドバイザー」。

研究員
森　成人

1999年入社。新規事業開発の仕事を経て、2013年4月より経済同友会の被災地支援プロジェクトにて被災地気仙沼市へ出向。被災地の復興のため、地元人材育成や観光振興、6次産業化など現地の仮設住宅に住みながら地域活性に携わる。2017年4月からは気仙沼に設立するDMO法人 （一社）気仙沼地域戦略 の理事、気仙沼市復興アドバイザーも務める。また2018年12月より観光庁専門家派遣事業に専門家として登録.
さらに2021年度からはリモートワーク・ワーケーションに関する研究も担当。

研究員
木島　達也

1990年㈱リクルート入社後、人材総合サービス部門で20年以上人材戦略等の経験を有する。2011年よりじゃらんリサーチセンターに着任。2015年より地方創生プロジェクトマネジャー及び総合企画グループマネジャー着任。2021年よりエグゼクティブプロデューサー兼研究員に着任。

研究員
三田　愛

人材育成・組織変革を専門とし、2011年より「コ・クリエーション（共創）研究」開始。自身が創発ファシリテーターを務め、垣根を越えた連携「みんなゴト」化と、事業創造「地域イノベーション」を促進し、自走型の地域活性を実現。その後、地域リーダー・首長・経営者・官僚・農家・クリエイター・教授等、多様な300名のコミュニティ「コクリ！」を創り、社会変容を研究。米国CTI認定プロフェッショナル・コーチ。 経済産業省、国土交通省、内閣官房の委員を歴任。サステナビリティ推進室兼務。

研究員
松本　百加里

2011年から旅行領域の自治体におけるプロモーション設計、イベント企画、クリエイティブ制作などディレクターとして活動。その後、宿泊事業社向け業務支援サービスの調査、着地型旅行体験や飲食店のインバウンド領域における商品開発を経て、2018年4月より現職。主にインバウンドに対する研究を担当。「海外旅行ニーズ調査」「インバウンド旅行者の需要創造メカニズム研究」「インバウンド回復期に向けたデジタルマーケティング研究」など。上級ウェブ解析士。各地域での講演や書籍の執筆活動も行う。

研究員
齋藤　晋作

前職はディレクターとしてテレビ番組制作に従事。2012年に株式会社リクルートへ入社。ホットペッパーグルメの広告営業や企画スタッフを担当。2015年にじゃらんリサーチセンターへ異動し、東海エリアのエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。その後、北陸エリアの担当及びチームリーダーを経て、2020年4月より着地型観光に関する研究を担当。

マジ☆部担当
佐藤　和香

2021年11月に株式会社リクルート入社、マジ☆部の企画・運営・推進を担当。主に、ゴルマジ！にてゴルフ市場の若年層需要活性化を推進、その他CRM（メールマガジン、note）など担当。旅行・レジャー市場の新たな需要開拓を行うために日々尽力中。

ご当地グルメ
開発プロデューサー
田中　優子

ご当地グルメ開発プロデューサーとして、全国各地で地域資源を活用した「ご当地グルメ」の開発・推進を行う。
約300件ほどの宿泊施設や観光施設の集客コンサルティング営業を経験後、2013年より、じゃらんリサーチセンター兵庫県エリアプロデューサーに。地域課題を解決すべく数多くの事業を実施。中でも「地域資源を人の力で観光資源に」、地域の皆さんと共に数多くのご当地グルメ開発を行い地域経済効果アップに成功。2020年4月より現職。その他、兵庫県商工会連合会の課題別専門家・兵庫県立但馬技術大学校の非常勤講師なども務める。

●登壇者プロフィール

研究スタッフ
五十嵐　大悟

アニメーション製作会社にて企画プロデュースや法務を担当した後、2016年にリクルートに入社。人材領域の法務を担当ののち、2018年にじゃらんリサーチセンターへ異動、エリアプロデュース、企画推進を経て、2020年より調査・開発グループに配属。「新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響」調査などを担当。2022年度からは、LGBTQなど性的マイノリティの旅行に関する研究も担当。

客員研究員
北嶋　緒里恵

2009年よりじゃらんリサーチセンターに配属。各自治体とともに観光による地域活性事業のプランニング・推進を担当。2014年研究員に着任。国交省検討会委員、福井県新幹線開業対策アドバイザー、ふくい観光ビジョン推進懇話会委員等を務める。「リゾート宿泊需要の高付加価値マーケティング」「持続可能な宿経営」など宿泊業をテーマに研究を担当。

客員研究員
ヒロ中田

「空飛ぶご当地グルメプロデューサー」として、地場産食材に徹底的にこだわった企画開発型の「新・ご当地グルメ」「新・ご当地みやげ」を全国で80品以上商品化。手がけた商品は、「富良野オムカレー」「深浦マグロステーキ丼」「那須の内弁当」「佐渡天然ブリカツ丼」「館山炙り海鮮丼」「加賀パフェ」「有田焼五膳」「日南一本釣りカツオ炙り重」「いずみ親子ステーキごはん」等々。青森県平内町では新・ご当地レストラン「ホタテ一番」をプロデュース。「コンセプトが一番！」が持論。

地域創造部
中四国グループマネジャー
早瀬　雄一

３M社にてAPAC市場を対象としたマーケティングに従事後、2016年にリクルート入社。デジタルメディア領域の経営企画を担当した後、じゃらんリサーチセンターへ異動。高知県、島根県、鳥取県のエリアプロデューサーとして、市場調査、体験コンテンツ造成、宿泊施設（旅館・ホテル）プロデュース、地域プロモーション、訪日外国人向けグルメサイトの構築などを担当。ＤＭＯ、自治体、観光協会などの各種アドバイザーも務めた。2022年4月から現職。

地域創造部
関西グループマネジャー
杉岡　亮汰

2013年(株)リクルート入社、新卒採用領域の法人営業部にて首都圏・関西圏の大手企業に対する新卒採用支援業務を行い、2019年 じゃらんリサーチセンターに異動。近畿エリアのエリアプロデューサーとしてインバウンド誘致加速化に向けた実証事業や地域ブランディング事業、観光産業の復興支援事業などを担当。2022年4月より現職。地方運輸局等、各種自治体の委員を務める。

地域創造部
総合企画グループマネジャー
平山　圭介

2018年より、(株)リクルートライフスタイルに中途入社、じゃらんリサーチセンターに配属。
前職では、（株）リクルートスタッフィングにて法人向け人材サービスの営業マネジャー、自社の採用マネジャーを務める。JRCでは、渋谷区キャッシュレス推進事業、最先端インキュベーター事業、宿泊業における人材不足解決のための就労促進事業等を担当。

株式会社
リクルート北海道じゃらん
代表取締役社長
大野　雅矢

2005年(株)リクルートに中途入社。人材採用領域に配属後、札幌にて求人誌創刊に従事。
2009年に旅行領域に異動し、シティエリア営業、チェーン法人本部営業、営業企画、ダイナミックパッケージ、レンタカーなど旅行事業の様々な領域でマネジャーを務めた後、2017年よりシティエリア営業部長を担当。2022年4月より現職。

株式会社
リクルートライフスタイル沖縄
代表取締役社長
有木　真理

某外食チェーン現場マネジャー・人事(採用教育課）、フリーランスのフードコーディネーターを経て、2003年リクルート入社「ホットペッパーグルメ」へ。ホットペッパー吉祥寺版編集長や営業マネジャー、営業部長などを歴任。
2014年にはトレンド座談会座長を兼任。2017年に株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役に就任。
ホットペッパーグルメ外食総研上席研究員、じゃらんリサーチセンター研究員を兼任。

地域創造部
部長
田中 政宏
（本セミナーファシリテーター）

観光・地域振興支援を担当する観光庁などの中央省庁、全国の地方自治体の営業責任者。
2007年に株式会社リクルート中途入社。
じゃらんリサーチセンターでエリアプロデューサー、マネジャーとしてエリア活性に携わった後、
法人向出張サービス(じゃらんコーポレートサービス(JCS))責任者を歴任。2020年4月より現職。